

# PL-USE00

## 取扱説明書

PL-USE00は(株)デジタル製パネルコンピュータ(以下PL-3700と称します)用の拡張SIOユニットです。2chの16C550互換のRS232Cインターフェイスを装備し、PL-3700のCOM3、COM4として使用できます。PL-USE00はPL-3700の拡張BUSに装着して使用します。

対応機種：PL-3700シリーズ

下記のほか、本書に記載の商品名は、各社の商標・登録商標です。

Pro-face：(株)デジタル

MS-DOS：米国Microsoft社



### 警告 安全に関する使用上の注意

- ・ PL-3700への取り付け時は感電の危険性がありますので、PL-3700に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- ・ PL-USE00は改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。

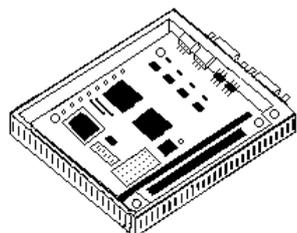
#### 故障しないために

- ・ PL-USE00は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。
- ・ PL-USE00に水など液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- ・ 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。

# 梱包内容

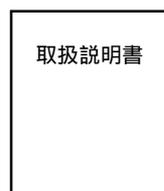
梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

PL-USE00 本体

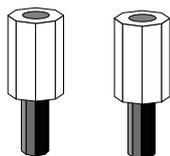


取扱説明書 1枚（本書）

PL-USE00 取扱説明書



スペーサ 2本



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

# 1 ハードウェア仕様

## 機能仕様

通信仕様	RS232C 非同期
通信用IC	16C550互換
通信ポート	2ポート
バッファメモリ	16byte FIFO

## 設定環境仕様

使用周囲温度	0 ~ 40
保存周囲温度	-10 ~ 60
耐ノイズ性	ノイズ電圧 : 1000Vp-p
	パルス幅 : 50ns, 500ms, 1 $\mu$ s
静電耐圧	4kV

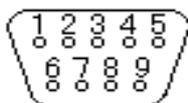


- ・ 上記環境仕様は PL-3700 に組み込んだ状態での仕様です。

## 2 インターフェイス仕様

コネクタ

Dsub 9 ピン(オス)



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	CD	6	DSR
2	RXD	7	RTS
3	TXD	8	CTS
4	DTR	9	RI
5	GND		

ネジの大きさは:(4-40): インチタイプ

## 3 割り込みレベルおよび I/O アドレス

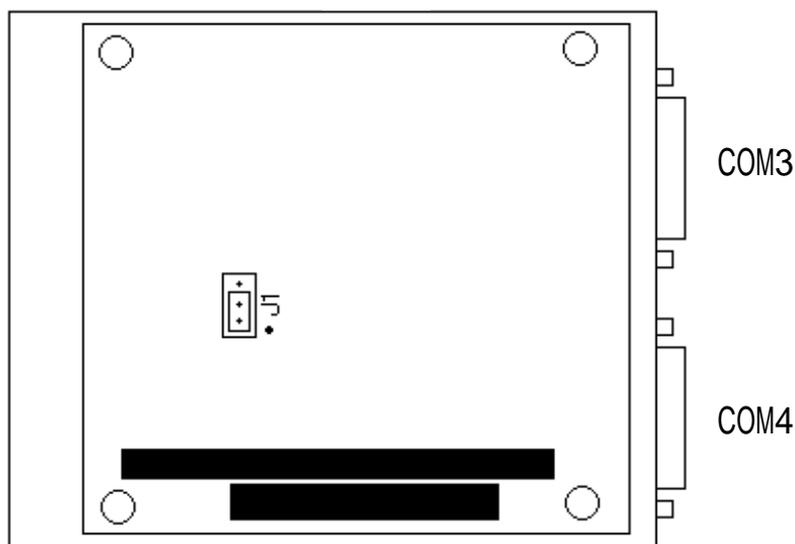
I/Oアドレス	IRQ	備考
3E8h ~ 3EFh	11	COM3
2E8h ~ 2EFh	10	COM4

## 4 ハードウェア設定

PL-USE00 は出荷時に PL-3700 用に設定されています。

**重要** ・ 通常は、出荷時設定(初期設定)で使用してください。

ショートプラグ J1 



**重要** ・ PL-USE00はPL-3700本体のシステムBIOSではサポートされていません。よって、標準的なPC/AT互換機を想定した市販アプリケーションではCOM3/COM4ポートを使用することが出来ないことがあります。EXTCOM.SYSを使用するか本ユニットのI/Oベースアドレス、割り込みレベルを使用して直接ハードウェアにアクセスするアプリケーションを開発してください。

## 5 ユニットの取り付け

以下の方法でユニットを PL-3700 へ取り付けてください。

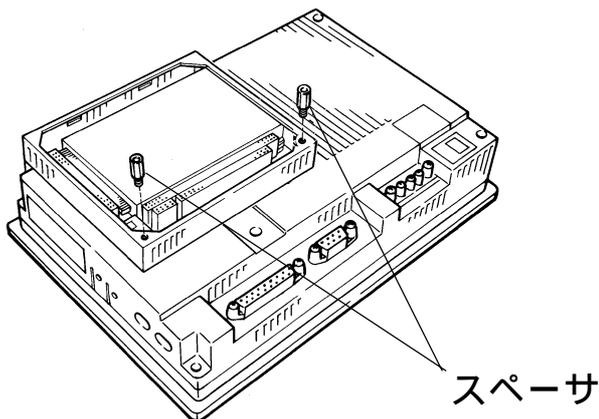
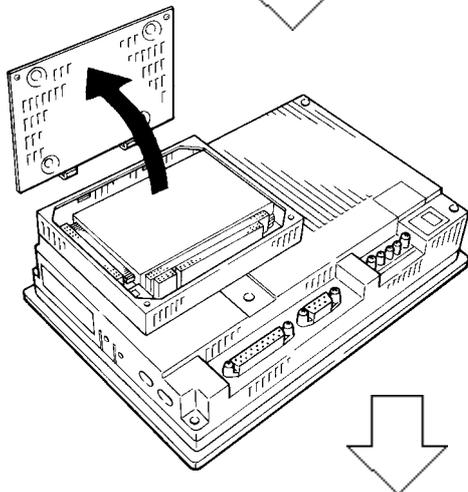
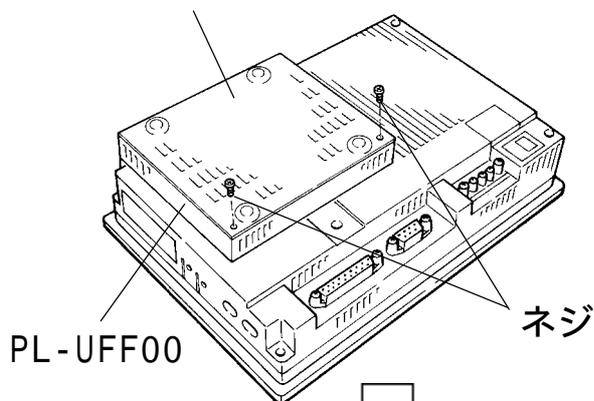


- ・ オプションユニットは運転時には、3 ユニット、開発、デバッグ時には4 ユニットまで接続可能です。

### 警告

- ・ 感電の恐れがありますので、必ず PL-3700 の電源を切ってから作業を行ってください。

リアメンテナンスハッチ



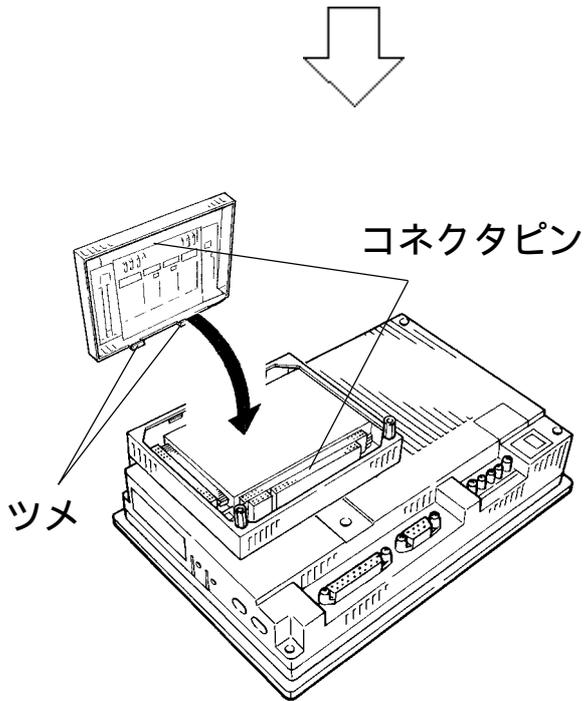
PL-3700 背面のメンテナンスハッチのネジ2カ所を外します。

**重要** ・ フラッシュファイルディスクユニット(PL-UFF00)と併用する場合には、フラッシュファイルディスクユニットを必ず第1ユニットとしてPL本体に直接取り付けてください。PL-USE00を第1ユニットする事はできません。

リアメンテナンスハッチを下から持ち上げながら、矢印方向へずらして取り外します。

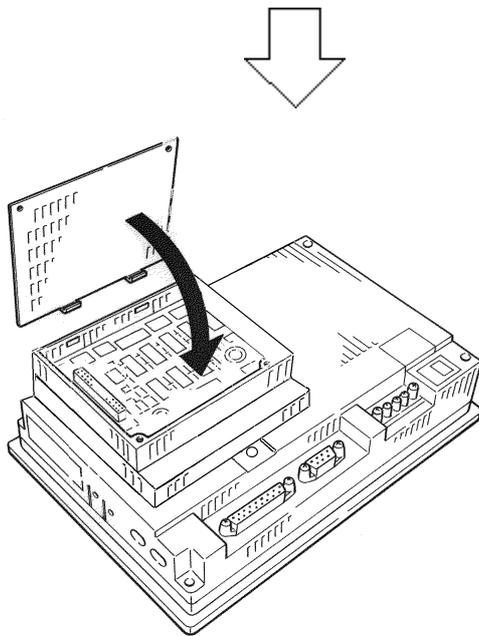
**重要** ・ ツメが曲がらないように注意してください。

リアメンテナンスハッチを取り外したネジ穴2カ所に、付属のスペーサを止めます。

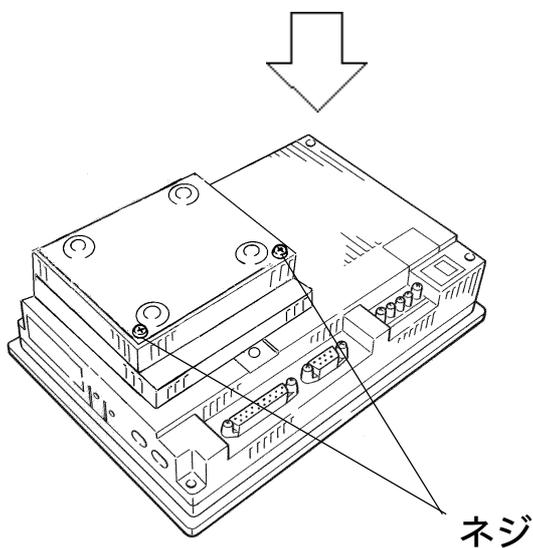


ユニットのツメの部分を PL-3700 本体の穴に引っかけて、コネクタピンが曲がらないように押し込みます。

**重要**・ 誤った接続で電源を投入すると、機器の破損の恐れがあります。



リアメンテナンスハッチのツメの部分をユニットの穴に引っかけてフタをします。



ユニットにリアメンテナンスハッチのフタをネジ2カ所で止めます。

PL-3700本体には受信割り込みを使用して通信するためのデバイスドライバEXTCOM.SYSが添付されています。

CONFIG.SYSにEXTCOM.SYSを追加してご使用ください。

例)DEVICE=EXTCOM.SYS -A3F8:1 -N -A3E8:1 -A2E8:1

詳細はPL-3700本体添付FDのREADME\_J.TXTをお読みください。

株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

T E L (06)613-1101 (代)

F A X (06)613-5888